

1) 目的

さっぽろ連携中枢都市圏*に本社を置く中小企業が、自社の経営課題の解決に向けた取組において、デジタル技術を活用した取組の費用の一部を補助することにより、デジタル化やDX(デジタルトランスフォーメーション)を促し、競争力及び成長性を高め、本市経済の活性化に寄与することを目的とする。

※札幌市及び近郊11市町村(小樽市、岩見沢市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村、南幌町及び長沼町)

2) 補助対象者

さっぽろ連携中枢都市圏に本社を有する中小企業(個人含む)、企業グループ、その他法人
ただし、IT産業を主たる事業として営む会社及び個人は除く

3) 補助対象事業

自社の経営課題を解決するために、市内中小IT企業者*と協力し、デジタル化、デジタルライゼーション、さらにはDX(デジタルデータの活用)に向けて取り組む事業

本補助金を通じて導入するシステム(ハードウェア、ソフトウェア)の利用をスムーズに行うことを目的とした、デジタル化及びDX化に関する知識や技能などを習得する研修受講費用も対象に含む。

※札幌市内に本社を有し、IT産業を事業として営む中小企業

4) 補助金額

デジタル化枠: 上限100万円、デジタルライゼーション枠: 上限200万円

DX枠: 上限500万円 ※補助対象経費の1/2以内

5) 補助件数

予算1,500万円の範囲内で実施(令和7年度採択:7件)

- ・北海道農業と全国就農希望者を繋ぐ求人受付からマッチングまで一元管理する求人ポータルサイト構築事業(ミライチ株式会社)
- ・DXによる教育から帰国後までの外国介護人材キャリア支援事業(株式会社HITOSORA)
- ・～「北海道を元気に!」20年目の再挑戦～LINE/API連携によるサブスクDX構築事業(株式会社感動いちば)
- ・箔押し不良判定AIシステムによる検品工程の省人化・不良ロス改善(モリタ株式会社)
- ・受注データ・工場発注システムの開発・導入事業(株式会社丸加水産)
- ・業界標準の医療スコーマ器具販売管理・スコーマ給付券管理システム構築事業(株式会社マイ・ケア)
- ・先読み営業を支える統合・AI分析事業(札幌制御システム株式会社)

6) 補助対象経費

本事業実施に係る市内中小IT企業者との間で発生する以下の経費

■事業費 ■設備備品費 ■人材育成関連費

7) 申請の受付・問い合わせ

一般財団法人さっぽろ産業振興財団 IT産業振興部

〒004-0015 札幌市厚別区下野幌テクノパーク1丁目1-10 札幌市エレクトロニクスセンター

TEL:011-807-6000 FAX:011-807-6005 URL:https://www.elecen.jp/

